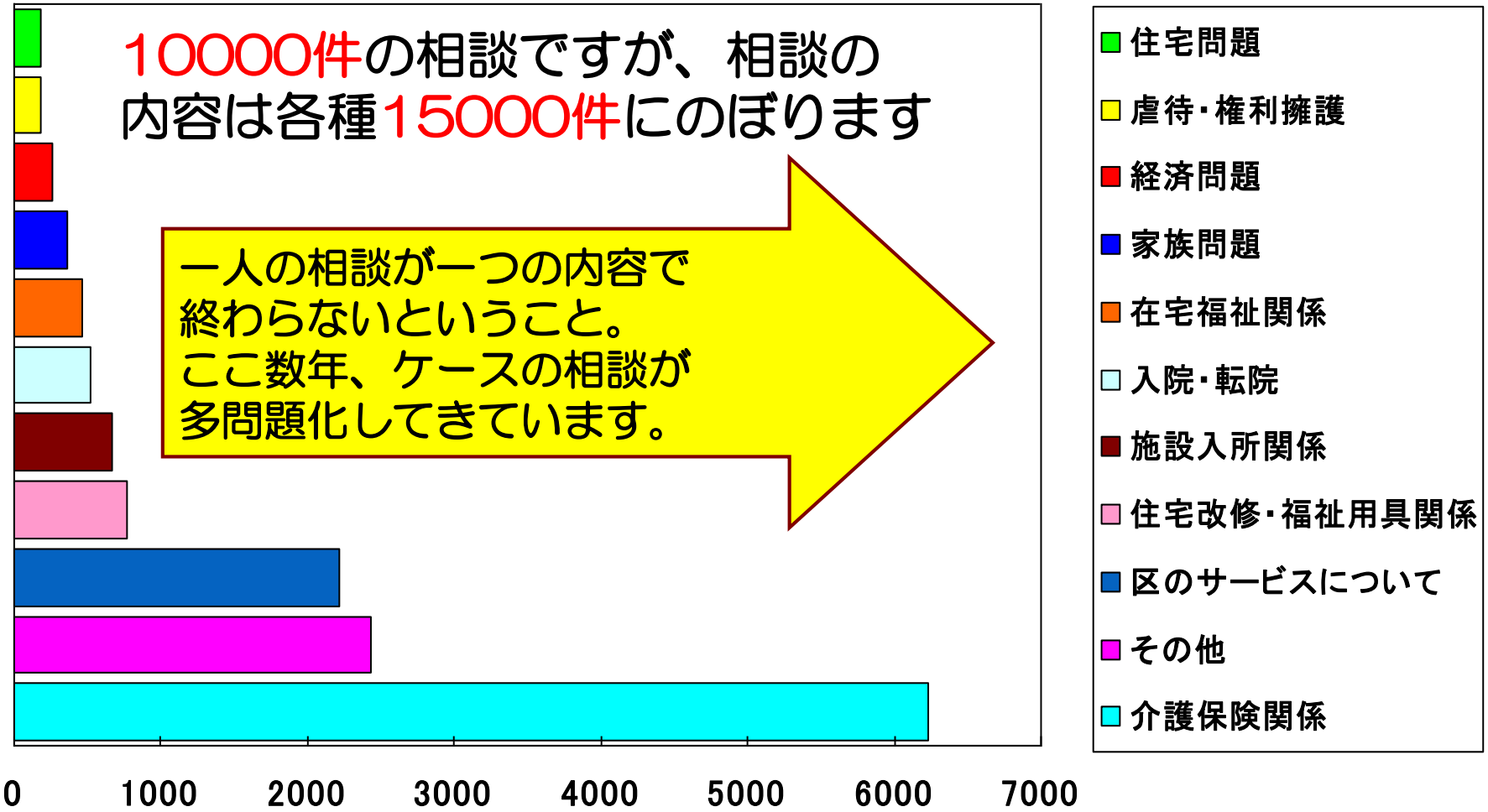
住民主体の地域コミュニティづくり

私たち「おおた高齢者見守りネットワーク」は、
平成20年から、医療・保健・福祉分野の専門職、民間
企業、行政機関が手をつなぎ、地域に暮らすすべての人たちの安心・
健康を支えるために活動しています。
民間企業、地域住民による**「見守りささえあい（気づき）のネットワーク」**と、
医療・保健・福祉分野の専門職による**「支援のネットワーク」** の
有機的な連携により、すべての人が安心して暮らし続けられるまちづくりを目指します。

みま～も発足へ！

私たちを突き動かしたもの

大田区内２３カ所の地域包括支援センターで１ヶ月10000件の相談に対応しています。



あくまで
相談に
来ることが
できた人数

地域には、専門職や各サービスを
必要としているが自分ではSOSの声を
上げることのできない人がたくさんいる

少人数の職員体制の中、
ともすれば・・・、

相談に来ることができた高齢者に対して、
サービスを提供するだけの対応に終始しがち。

まるで、
もぐら叩き！

それでは、今後の更なる高齢化や、
多問題を抱える高齢者に対応できなくなるのは明らか！

本来の地域包括支援センターの役割を果たしたことにはならない。

支援が必要な人を専門職による
「点」で支える限界！

地域に暮らすすべての人
地域で働くすべての人たちとともに
「面」で支える仕組みづくりを！

みま～も！

大田区で生まれた

みま～もの取り組み！

『 様々な得意分野を持つ民間企業との連携による新たな都市型ネットワークモデル！ 』

まちづくりを目的とした
当会の趣旨に賛同した
企業・事業所・施設、
病院・クリニック等が、

金を出し、
人も出し、
汗も出す！

いくつになっても
安心して暮らし続ける
まちづくり！

を合い言葉に、地域の
医療・保健・福祉の専門職
（事業所）、民間企業が
「協賛金」を出し合い、活動をする
新しい地域づくりのカタチ！

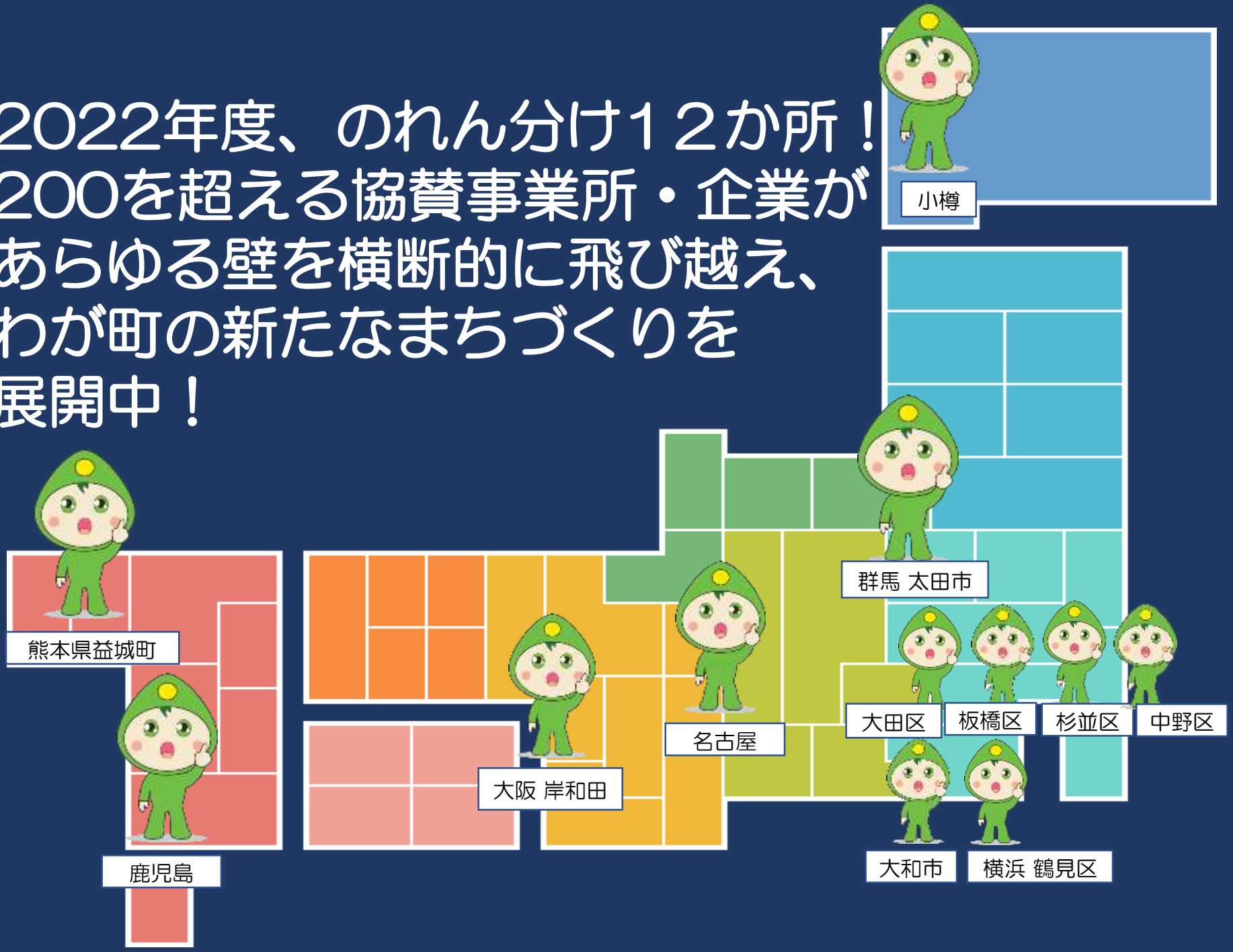
協賛企業・事業所数６８！

後　援

大田区・大田区社会福祉協議会
日本赤十字社 東京都支部
東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム

協賛病院　４	協賛施設　６	協賛企業　３６
協賛薬局　８	協賛医療・介護事業所　１４	

2022年度、のれん分け１２か所！
200を超える協賛事業所・企業が
あらゆる壁を横断的に飛び越え、
わが町の新たなまちづくりを
展開中！



医療・介護専門職にとっての

メリットは？

地域包括ケアシステムの５つの構成要素

専門職によるサービス

地域生活における社会参加や社会活動

すまいの確保支援

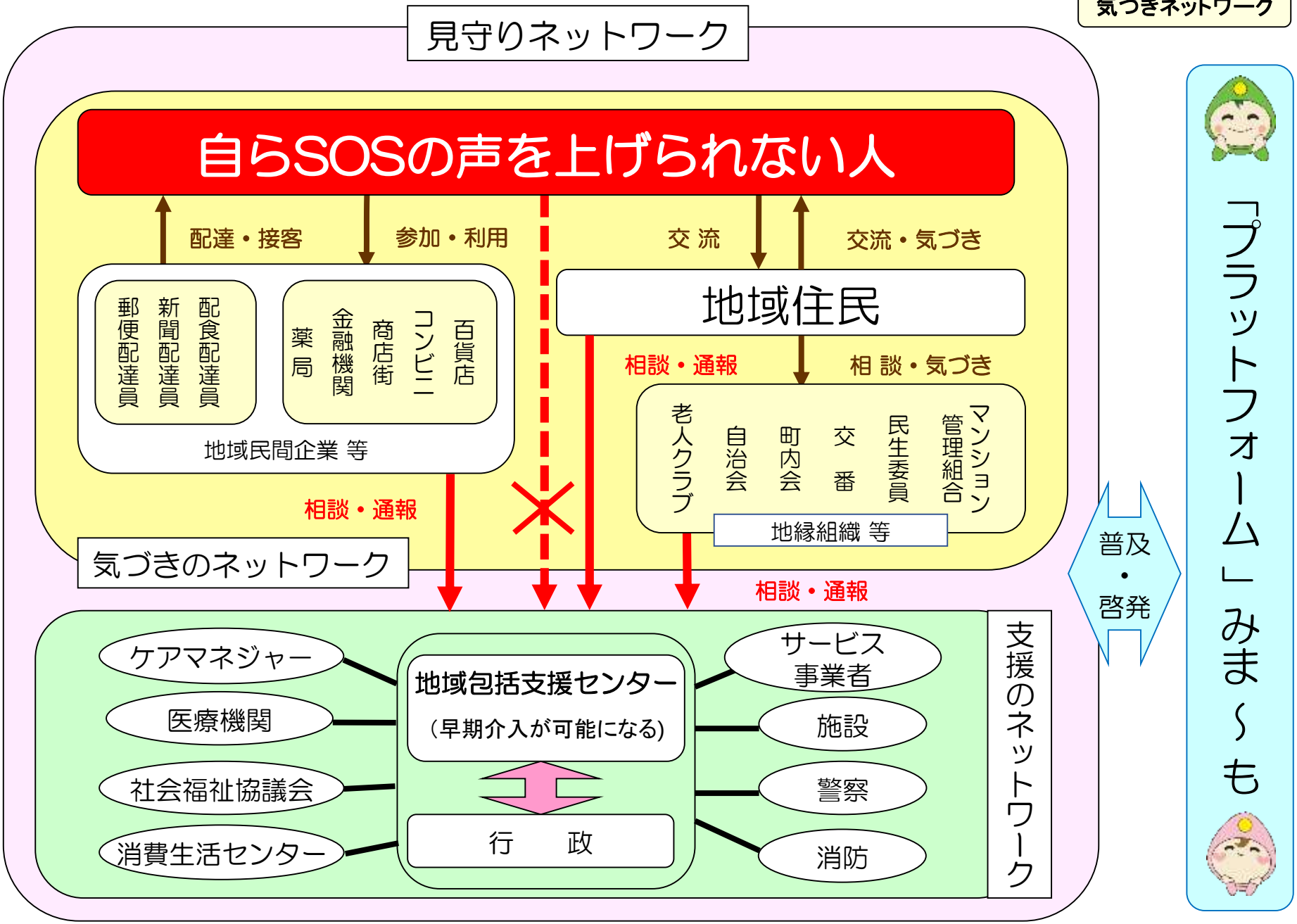
自立決定支援

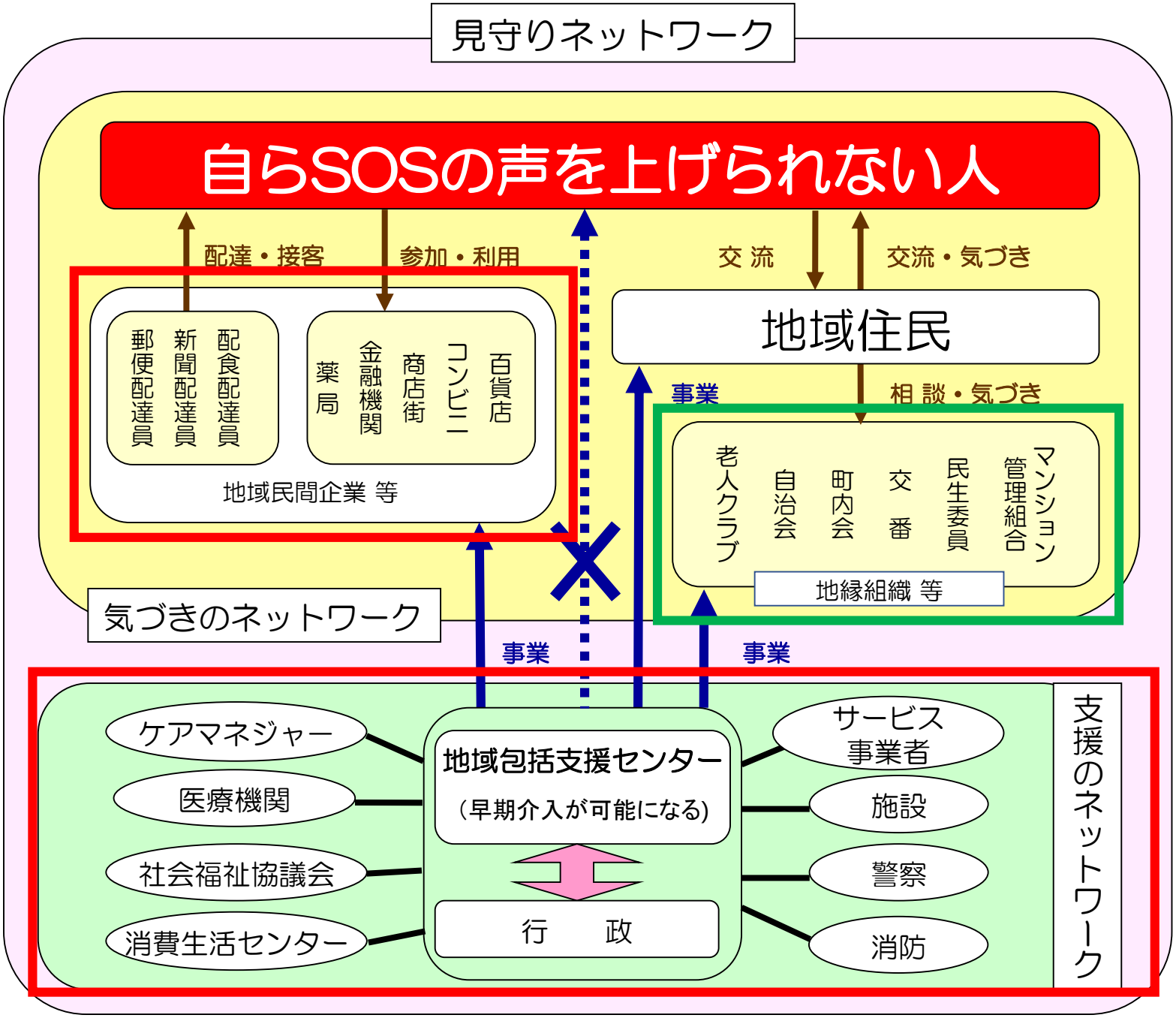
近所との付き合い
友人知人・その人が
つながるすべての人、場
スーパー・コンビニ
スポーツジム・宅配便
喫茶店・カラオケ
郵便局

支援が必要な人を見守り・支え合うネットワークとは？

支援のネットワーク

気づきネットワーク



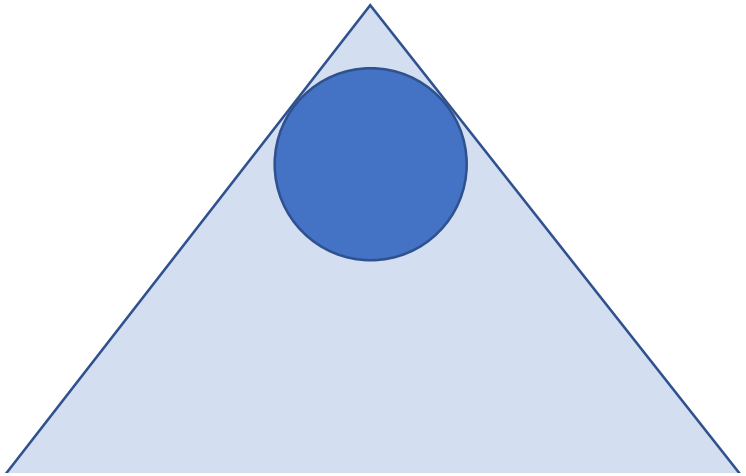

見守りネットワーク
自らSOSの声を上げられない人
配達・接客
参加・利用
交 流
交流・気づき
配食配達員
新聞配達員
郵便配達員
百貨店
コンビニ
商店街
金融機関
薬局
地域民間企業 等
地域住民
事業
相 談・気づき
マンション管理組合
民生委員
交 番
町内会
自治会
老人クラブ
地縁組織 等
気づきのネットワーク
事業
事業
ケアマネジャー
医療機関
社会福祉協議会
消費生活センター
地域包括支援センター
（早期介入が可能になる）
行 政
サービス事業者
施設
警察
消防
支援のネットワーク

見守り・支援が必要な人を「点」ではなく「面」として支える仕組みづくり！

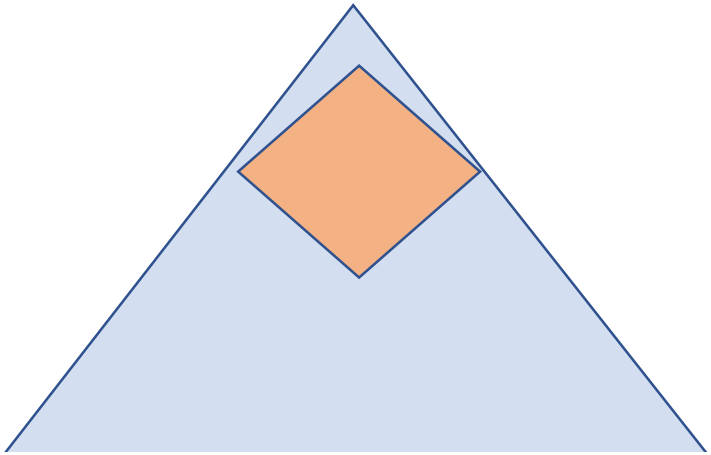
点

見守り・支援が必要な人を「点」ではなく「面」として支える仕組みづくり！

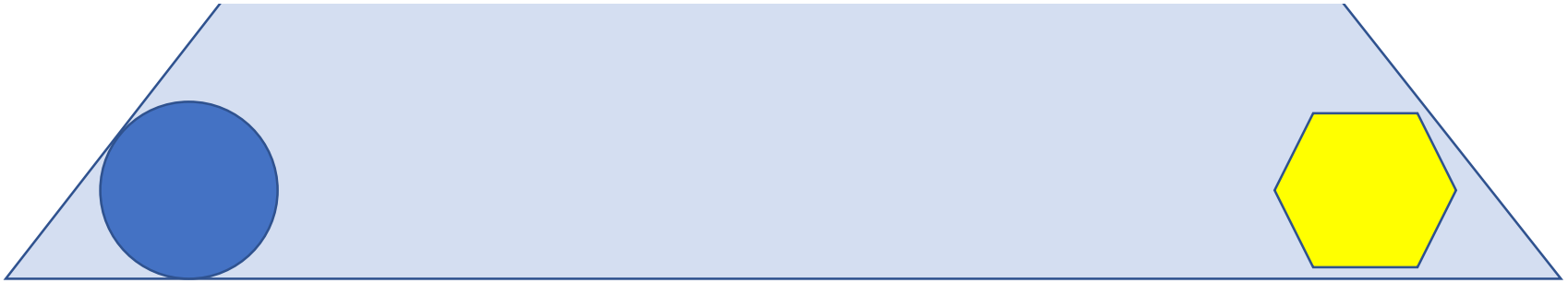
線



すべての事業を3つ以上の組織と
取り組む意識を持つ！



目的を共有した、異なるロールをもつ
3つ以上の組織・機関と
事業を生み出す意識を持つこと



多彩な社会資源・人的資源が
織りなす地域ネットワーク

『みま～も』が

生み出した風景が
ここにあります！

毎月開催している「地域づくりセミナー」！

これ以上の介護予防はなし！

高齢者見守りキーホルダー登録システム

あなたが、もし外出先で突然倒れるなど、身元が確認できない状況で救急搬送された際、迅速に身元確認が行えるようにするためのものです。
また、認知症の方の徘徊などの際にも身元確認に役立つものです。
キーホルダーが目印になり、搬送先病院や警察などが、地域包括支援センターへ連絡し、あなたの登録状況を確認することができます。

Ｈ２７.２：実用新案取得システム

〈表〉担当地域包括支援センターの連絡先が記載されています。

〈裏〉本人を確認するための番号が記載されています。

情報の更新は、
「つながりの更新」も含めて毎年誕生月に実施

みま～もステーション「アキナイ山王亭」

「アキナイ山王亭」は、大田区が、空き店舗等を活用した
お休み処やトイレ等の提供への補助を行う
「商店街コミュニティ活性化事業」を利用して、
大森柳本通り商店街振興組合が閉店した履物屋を改修。

２９年度は
４３０講座
延べ参加数
４９５０名！！

みま～も効果で売り上げ５０％増！

商店街は現在、空き店舗ゼロに回復！

地域共生社会実現のためのキーワード
「社会参加」！

↓

いくつになっても、行きたい場所がある！
それは、気軽に訪れることができる場所。
行きたいと思える場所！
そこには、友人・知人がいて、自分を待っていてくれる。
必要としてくれている。

いくつになっても、持病があっても、１人で外出できなくても、
その人なりの社会参加の『場』がある・・・。
ひとつの大きな施設より、地域にそんな場がたくさんあることが
重要なんです！！

行政職員・専門職が
やりがちなネットワーク構築

お仕着せのネットワーク！

「こうあるべき！」・「これが大切！」

この段階では、専門職・地域包括支援センター・行政からのトップダウンの取り組みに、やらされ感いっぱいで参加する地域住民という図式しかつくれない。

本人の気持ちが伴わない中では・・・、
何も生まれない！
私たち専門職が今、意識しなければ
ならないこと、それは「支援」よりも

「共感」をつなぎ、
「主体」を広げていくこと！

これから、医療・介護専門職は、どのような変化を求められるのか？

医療・介護専門職の間では今、
空前の「連携」「ネットワーク」ブーム？！

しかし現状は・・・・・・、

制度内連携・制度間連携・専門職連携

ネットワーク構築が「専門職のネットワーク」と

矮小化されているのが現状。

地域の様々な社会資源、住民は蚊帳の外・・・

地域包括ケアの実現に向けた専門職の課題

気づきのネットワーク構築に専門職として何ができるか！

税収が潤沢にあった「福祉国家」の時代から
支える層がいなくなる「少子高齢社会」へ

健康についての考え方が大きくパラダイムシフトしている。
Cure → Care → Well-being へ

イギリス　：パッケージ型のケア提供からの脱却　（『Well-being 原則』2014）
デンマーク：24時間型在宅ケアを削減　（『イェムプライエン』1980）

「できないこと」に対して専門職（医療・介護）の
「制度サービス」を提供する今までのやり方から・・・

↓

その人の「できること」「したいこと」を対話によって
しっかりと引きだして、地域の資源で解決していく
コーディネート・マネジメントが専門職に求められる時代へ

一人ひとりのWell-beingにしっかりとフィットする。
人は「制度」の中に生きているのではなく、ずっと「地域」に生きてきた存在。

地域のあらゆる資源・人・組織に寄り添うことのできる専門職へ！

「個別ケース」・「利用者」との関わりだけでなく、
その人の暮らし・生活、地域を元気にする！
（自分自身が元気で豊かさを感じることができていれば、その人は必ず他者に目が向く）

地域の資源活用・民間企業を巻き込んだサービス開発
地域の力も借りながら・・・、
住民が、「住み慣れた地域でその人らしく可能な限り暮らし続けるために」できることを丸ごと支援する・コーディネートが求められる。

医療や介護が必要となる前の元気な頃から、
地域と専門職が関わることができる仕組みが必要

人が組織が動き出すための魔法の言葉！

「あなたが必要なんです！

力をかしてください」

みま～ものホームページができました！

http://mima-mo.net/

厚生労働省ホームページ
『地域共生社会のポータルサイト
～みま～も～』

東京都ホームページ
『高齢者の特性を踏まえたサービス提供
のあり方検討会』

厚生労働省広報誌 『厚生労働』
2020.11月号
人と社会をつなぐ地域
プラットフォーム～みま～も～